

Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り

第 46 号 (2024 年 8 月 15 日発行)



今年も記録的な猛暑や不安定な天候の夏となっているようです。気象・動植物等によるリスク管理については当協会のホームページ「安全ガイド」等でお知らせしていますので、ご活用ください。

本号の内容

- ・ IOF 総会報告
- ・ イベントディレクタ認定試験 実施時期変更のお知らせ
- ・ フット O ジュニア世界選手権 (JWOC2024) 報告
- ・ フット O 世界選手権 (WOC2024) 報告
- ・ 今後の公認大会・講習会のお知らせ

● IOF 総会報告 (副会長: 村越真)

7 月 15 日、スコットランドで開催されている世界選手権の会期中に、2 年に一度の IOF 総会が開催されました。総会では、理事会からこの 2 年間の活動や決算についての報告、今後の活動プランと予算および会費についての提案があり、いずれも原案通り可決されました。活動プランでは若者への普及や TV への露出などの更なる推進が示されました。IOF では、国際大会出場と GDP によるグループ分けて会費が算出されており、日本は第 5 グループで、2024 年 3240EU、2025 年 3345EU、2026 年 3450EU の会費となります。

本総会では、会長、副会長 3 名中 2 名、理事 7 名中 4 名の改選も行われ、日本が理事に擁立した杉山隆司氏が当選しました。理事会は現在クオータ制が採用されており、女性が最低 3 名、ヨーロッパ外が最低 2 名選ばれることになっていますが、杉山氏はこの枠とは無関係に 22 票で当選しました。なお、会長は、会長はこれまで 20 年にわたり理事・副会長・会長を歴任したエストニアのレイホ・ハルドナ氏の退任により副会長のトム・ハロウェル氏が、副会長は、ラザロ・ゼンタイ氏(ハンガリー)、リンダ・ターケ氏(スウェーデン)、イングリッド・オッケンハウグ氏(ノルウェー)、イルズ・ストラウム氏(ラトビア)、ユルク・減るミューラー氏(スイス)が選出され、さらにアスリート代表として、エリーネ・ゲンペール氏(スイス)、ジョナサン・ストール氏(スウェーデン)が承認されました。コロナ禍以来、オンラインも併用したハイブリッドによる開催であり、投票に関しては対面の参加者も含めてデジタルプラットフォームを利用して行われました。なお、総会の議案書は以下の URL からダウンロードできます。

IOF 総会資料: <https://orienteering.sport/wp-content/uploads/2024/05/binder-iof-ordinary-general-assembly-2024.pdf>

● イベントディレクタ認定試験 実施時期変更のお知らせ

2022 年度より始めましたイベントディレクタ認定試験につきまして、これまで年 4 回(6 月、9 月、12 月、3 月)実施していましたが、ディレクタ 1 級・2 級からの移行期が終了したため 2025 年度より年 2 回(9 月・3 月)の実施に変更します。(2024 年度のみ 6 月、9 月、2025 年 3 月に実施)

今後予定されている認定試験の日程については、「大会・講習会」のページをご覧ください。

大会・講習会のページ: <https://www.orienteering.or.jp/events/>

イベントディレクタ認定試験(9 月)申込ページ: <https://japan-o-entry.com/event/view/1779>

●フット O ジュニア世界選手権(JWOC2024)報告 (強化委員会、ジュニア小委員会)

7月1~7日にチェコのPilsenで開催されたJWOC2024に、本年も男女6名ずつのフルメンバーで挑みました。コロナ期間を経て、2023年よりJWOCはフォレストのミドル種目で予選がなくなり、代わりに男女混合チームで競うスプリントのミックスリレーが正式種目となっています。昨年は各国2チームずつの出場しか認められなかったのですが、今年は3チームずつ出場可能となり、スプリントリレーも全選手が参加できました。つまり、全選手が全5種目にエントリーが可能となりました。このためもあり、昨年に引き続き4月の代表選考レースへの出場条件とし3000mなどの走力基準タイムを設定しています。

今年は初日に実施されたスプリントリレーでは第1チーム(中館-加藤-寺嶋-小野塚)がトップのノルウェーに対するタイム比117%で出場33チーム中の23位。昨年の20位には及ばなかったものの、今年も中堅国とは互角の勝負ができました。最終日のフォレストリレーでも男子は出場32チーム中の23位で、今年も過去最高順位(21位)に迫ることができました。



写真左: スプリント会場にて



写真右: 男子フォレストリレー-竹林、梶本、寺嶋

個人種目では今年が最後のJWOCとなった寺嶋が全種目で男子のトップタイムとなり、特に目標と定めていたミドル種目では42位(タイム比117%)という素晴らしいものでした。ミドルの翌日に行われたフォレストリレーの第1走者でも先頭集団に食い下がり、全体の9位で第2走者にチェンジオーバーするという快走を見せてくれました。「日本人も世界と互角に戦える」ことを示す、本当に素晴らしい走りでした。

女子ではともに初出場だった高校生の大野と山本がチーム内上位と活躍し、来年以降のさらなる飛躍を期待させるものでした。チーム全体としても、慣れないチェコのトレインで今できる実力を出し切ってくれた選手が多かったと思います。今年も多くのご支援、ご声援をいただきました。今後も年末のAsJYOCなどジュニアチームの挑戦は続きます。引き続きご注目ください。

スプリントリレー 7月1日 出場 75 チーム

1 Norway 1	54:08	
23 Japan 1	1:03:19	+9:11
(中館 美卯 - 加藤 賢斗 - 寺嶋 謙一郎 - 小野塚 智美)		
- Japan 2	mispunched	
(小川 奈菜 - 梶本 和 - 竹林 寛生 - 牧 依瑠香)		
- Japan 3	(参考記録 1:10:09、59位相当)	
(山本 瑛里 - 尾藤 碩 - 岩崎 壮馬 - 大野 知沙子)		



スプリント 7月2日

Men 20

1	Matthieu Buehrer	SUI	13:17	
71	寺嶋 謙一郎	JPN	15:11	+1:54
108	梶本 和	JPN	16:06	+2:49
110	竹林 寛生	JPN	16:11	+ 2:54
120	加藤 賢斗	JPN	16:21	+3:04
141	岩崎 壮馬	JPN	17:18	+4:01
146	尾藤 碩	JPN	17:45	+4:28

Women 20

1	Elli Punto	FIN	14:04	
1	Michaela Novotna	CZE	14:04	
112	山本 瑛里	JPN	18:02	+3:58
119	小野塚 智美	JPN	18:21	+4:17
120	中館 美卯	JPN	18:25	+4:21
136	大野 知沙子	JPN	20:04	+6:00
143	牧 依瑠香	JPN	21:49	+7:45
144	小川 奈菜	JPN	22:42	+8:38

ロング 7月3日

Men 20

1	Matthieu Buehrer	SUI	1:15:06	
93	寺嶋 謙一郎	JPN	1:41:05	+25:59
94	梶本 和	JPN	1:41:28	+26:22
126	竹林 寛生	JPN	1:58:44	+43:38
127	岩崎 壮馬	JPN	1:58:54	+43:48
138	尾藤 碩	JPN	2:12:39	+57:33
144	加藤 賢斗	JPN	2:27:37	+1:12:31

Women 20

1	Lucie Dittrichova	CZE	1:14:48	
92	大野 知沙子	JPN	1:54:12	+39:24
112	牧 依瑠香	JPN	2:08:12	+53:24
115	中館 美卯	JPN	2:11:04	+56:16
116	小野塚 智美	JPN	2:12:19	+57:31
122	小川 奈菜	JPN	2:23:41	+1:08:53
124	山本 瑛里	JPN	2:29:02	+1:14:14

ミドル 7月5日

Men 20

1	Jan Strycek	CZE	25:42	
42	寺嶋 謙一郎	JPN	30:04	+4:22
100	梶本 和	JPN	33:34	+7:52
147	岩崎 壮馬	JPN	40:56	+15:14
149	竹林 寛生	JPN	41:30	+15:48
152	加藤 賢斗	JPN	42:41	+16:59
155	尾藤 碩	JPN	43:10	+17:28

Women 20

1	Lucie Dittrichova	CZE	24:12	
112	中館 美卯	JPN	39:48	+15:36
114	大野 知沙子	JPN	40:27	+16:15
117	山本 瑛里	JPN	42:20	+18:08
124	小川 奈菜	JPN	46:44	+22:32
134	牧 依瑠香	JPN	52:37	+28:25
135	小野塚 智美	JPN	57:15	+33:03

フォレストリレー 7月6日

Men 20 出場 57 チーム

1	Switzerland 1	1:42:06	
23	Japan 1	2:10:30	+28:24
(寺嶋 謙一郎 - 梶本 和 - 竹林 寛生-)			
- Japan 2 (参考記録 2:45:51、48 位相当)			
(加藤 賢斗 - 岩崎 壮馬 - 尾藤 碩)			

Women 20 出場 48 チーム

1	Finland 1	1:40:54	
22	Japan 1	2:31:30	+50:36
(中館 美卯 - 大野 知沙子 - 牧 依瑠香)			
- Japan 2 (参考記録 2:55:25、41 位相当)			
(小川 奈菜 - 山本 瑛里 - 小野塚 智美)			

●フット O 世界選手権(WOC)報告 (強化委員会)

2024 年世界選手権大会(WOC2024)が、2024 年 7 月 11 日～16 日、英国・エディンバラにおいて開催されました。スプリント競技のみの WOC は、2 年前にデンマークで初めて開催され今回は 2 回目でしたが、エントリーは前回よりも 3 ヶ国増えて 45 ヶ国、アジアからは日本、韓国、中国、香港、カザフスタンの 5 ヶ国が参加しました。

強化委員会では、スプリント WOC に向けて 3 年前から走力強化、代表選考における走力重視の方針を打ち出しました。そして今回のスプリント WOC ではスプリント力に優れた選手が代表選手に選ばれ、スプリント力だけをみると世界のトップ選手に大きく近付いたと考えています。また代表選手を選考した後は、少人数であっても毎週のように街中でのスプリントオリエンテーリング練習会を開催し、スプリント WOC に向けて充

実したトレーニングができたと考えています。さらに、競技エリアは事前に公表されているため、対策地図やコースを用いて充実した机上練習を行うことができました。

競技結果としては、ノックアウトスプリント競技で近藤選手が予選を通過して決勝ステージに進む 36 人に入り、準々決勝では 6 人中 5 位であったことから正式リザルトでは 25 位タイと記録され、今回のスプリント WOC の目標としていた「スプリント個人種目 35 位」をクリアしました。また、スプリントリレーについては、目標の”20 位、アジア、北米、南米、アフリカ地域の中でトップ”を達成することはできなかったものの(日本 22 位、カナダ 19 位)、フィニッシュするまでヨーロッパ諸国と秒差の争いをできたことは、今後につながる結果であると考えています。

今回の WOC 出場にあたり、昨秋から日本各地での強化委員会指定レース開催、スプリント練習会開催において、本当に多くの方々や地域クラブにご支援・ご協力をいただきました。直前においても、現地トレキャン用のコース提供、本番の対策地図、予想コースの提供などにも絶大なるご協力をいただき、選手たちには大きな支えと励みになりました。改めて感謝申し上げます。今後も引き続き、日本チームへのご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

スプリント予選 7月12日

Men-2

1	Tim Robertson	NZL	13:17	
15	Martin Roudny	CZE	14:09	+0:52
19	小牧 弘季	JPN	14:37	+1:20
24	根本 啓介	JPN	14:58	+1:41

Men-3

1	Yannick Michiels	BEL	13:21	
15	Martin Rohac	SVK	14:30	+1:09
34	橋 孝祐	JPN	18:39	+5:18

Women-1

1	Megan C. Davies	GBR	12:39	
14	Shuangyan Hao	CHN	14:24	+1:45
14	Filipa Rodrigues	POR	14:24	+1:45
21	近藤 花保	JPN	15:07	+2:28
30	樋口 佳那	JPN	17:14	+4:35

Women-2

1	Simona Aebersold	SUI	12:37	
15	Gabija Razaityte	LTU	14:20	+1:43
23	増澤 すず	JPN	15:34	+2:57

Women-3

1	Tove Alexandersson	SWE	12:59	
15	Hanna Mueller	GER	14:46	+1:47
24	桑原 唯歩	JPN	16:01	+3:02

スプリントリレー 7月14日

出場34チーム

1	Switzerland 1	58:43.30
22	Japan 1	1:08:47.89

(近藤 花保 - 小牧 弘季 - 根本 啓介 - 桑原 唯歩)

写真： IOF / Kristina Lindgren



ノックアウトスプリント予選 7月16日

Men-1

1	Tuomas Heikkila	FIN	9:50	
12	Jonas Hubacek	CZE	10:40	+0:50
22	小牧 弘季	JPN	11:17	+1:27

Men-2

1	Yannick Michiels	BEL	9:43	
12	Oscar D.B. Jensen	DEN	10:16	+0:33
23	橋 孝祐	JPN	11:02	+1:19
31	根本 啓介	JPN	11:47	+2:04

Men-3

1	Tomas Krivda	CZH	9:50	
12	Piotr Parfianowicz	POL	10:28	+0:38
32	橋本 遼佑	JPN	11:53	+2:03

Women-1

1	Inka Nurminen	FIN	10:15	
12	Rita Maramarosi	HUN	11:09	+0:54
26	桑原 唯歩	JPN	12:53	+2:38

Women-2

1	Simona Aebersold	SUI	9:49	
11	近藤 花保	JPN	10:44	+0:55
12	Josefine Lind	DEN	10:45	+0:56
26	樋口 佳那	JPN	11:40	+1:51

Women-3

1	Viktoria Mag	HUN	10:06	
12	Lizzie Ingham	NZL	10:47	+0:41
20	増澤 すず	JPN	11:18	+1:12

準々決勝 Women-QF3

1	Megan C. Davies	GBR	7:50.00	
3	Evely Kaasiku	EST	8:01.60	+0:11.60
5	近藤 花保	JPN	8:19.40	+0:29.40



●今後の公認大会・講習会のお知らせ

9月10-20日	イベントディレクタ認定試験	
9月16日	千葉大 OLC50 周年記念大会【公認 F】	(栃木県)
10月19日	第13回全日本オリエンテーリング選手権大会(ミドル・ディスタンス競技部門)	(岐阜県)
10月20日	第51回全日本オリエンテーリング選手権大会(ロング・ディスタンス競技部門)	(岐阜県)
12月8日	第33回全日本リレーオリエンテーリング大会	(三重県)
12月14日	コーチ1 オンライン講習	
12月21-22日	コーチ1 集合講習	(滋賀県)
2025年		
2月9日	第17回全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)	(東京都)
3月10-20日	イベントディレクタ認定試験	

以上